説明資料

再生可能エネルギー事業
収益化スキーム変更に伴う
会計処理の変更について

株式会社フォーシーズHD（コード3726 スタンダード市場）

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

一括売却から、物件ごとの3つの選択肢へ。

BEFORE

一括売却

複数物件をまとめて
一括で売却する前提

AFTER：物件ごとに選択

売電	完成後に売電し、継続収入
売却	完成後に売却し、資金回収
低圧蓄電所	蓄電所へ転換し、転売

特別損失は、事業スキームの変更により、工事代金前渡金の会計処理を変更したことによるもの。本会計処理変更に伴うキャッシュフローへの影響はなく、一過性のものです。2027年9月期以降、今期から３年間を目途に物件完成に基づく各種収益機会は継続します。

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

前渡金及びその特別損失の会計処理は2026年9月期に計上済み。今期以降に残るのは完成時の残代金。

工事代金の前渡金

7,514,249円

費用計上済み → 再計上なし

完成時の残代金

2,593,773円

今後支払が必要

総契約金額　10,108,022円

> 低圧蓄電所のみ：別途 不足工事費 ＋ 手数料等 が必要となる見込み

01 売電 継続収入

前提

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

完成した設備で売電：初年の売上 約161万円／件。

完成設備
低圧太陽光

発電・売電
初年 約11.5万kWh

継続入金
20年間

連携を進めるパートナー
株式会社HINA
株式会社翔舞建設

前渡金込みの参考IRR

約12.1%

今期以降
残代金のみに対する参考IRR

→約53.4%

総投資10,108,022円を0時点に置く比較

今期以降　残代金のみに対する利益・CF試算

初年度の税前利益（1件）

約124.7万円

＝約2,400万円

初年度CF（修繕積立後）約139.5万円

20年間累計CF合計（1件）

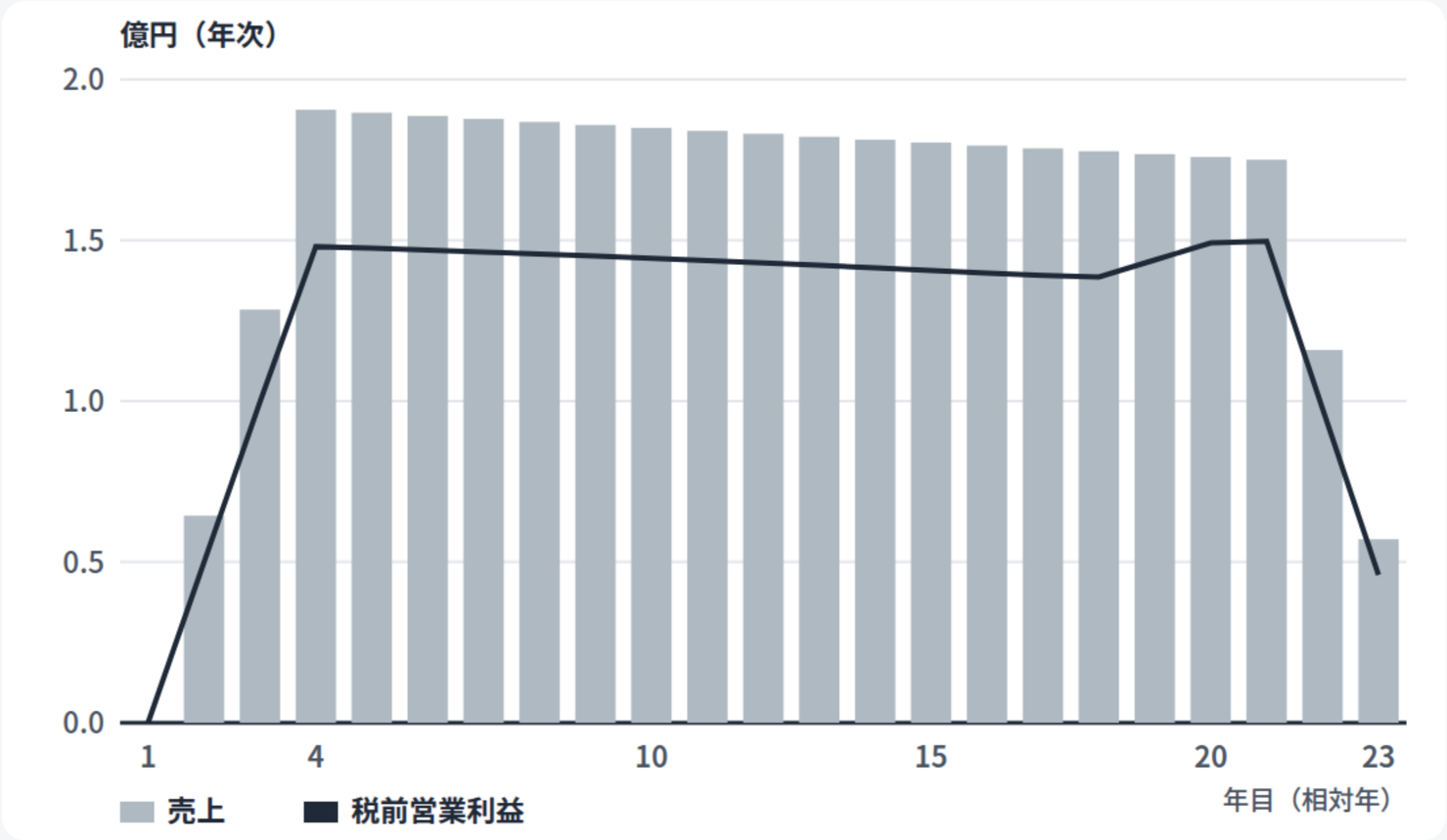
追加投資（残代金のみ）に対するIRRは約53.46%（単純回収 約1.9年）。
前渡金を除外した限定的な基準です。

01 売電 継続収入

結果

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

119件・売電の各期間20年（全期間23年）：売上累計 約36.54億円。



売上（23年累計）

約36.54億円

投資後CF（23年累計）

約28.88億円

修繕積立後CF − 残代金

40／40／39件が各年末に完成し、翌年から各20年稼働する仮定。全119件の稼働初年度合計の売上は約1.92億円（参考）。
税前営業利益（累計 約28.88億円）とCFは別指標。前渡金8.94億円は除外。出典：添付資料の売電モデル（条件付き試算・収益の保証ではありません）

02 売却 完成後の販売

前提

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

完成した発電所を販売：1件のPL寄与試算 約959.8万円。

完成設備
95.94kW／件

→

販売（税込）
145,000円／kW

→

売却代金
1件ごとに入金

連携を進めるパートナー
株式会社HINA
株式会社翔舞建設

税込の売却代金		設備の税別換算売価		残代金		PL寄与試算
約1,391万円	→	約1,219万円	−	約259万円	＝	約959.8万円
95.94kW×145,000円		土地相当50万円を控除し÷1.1		完成時に支払		1件あたり

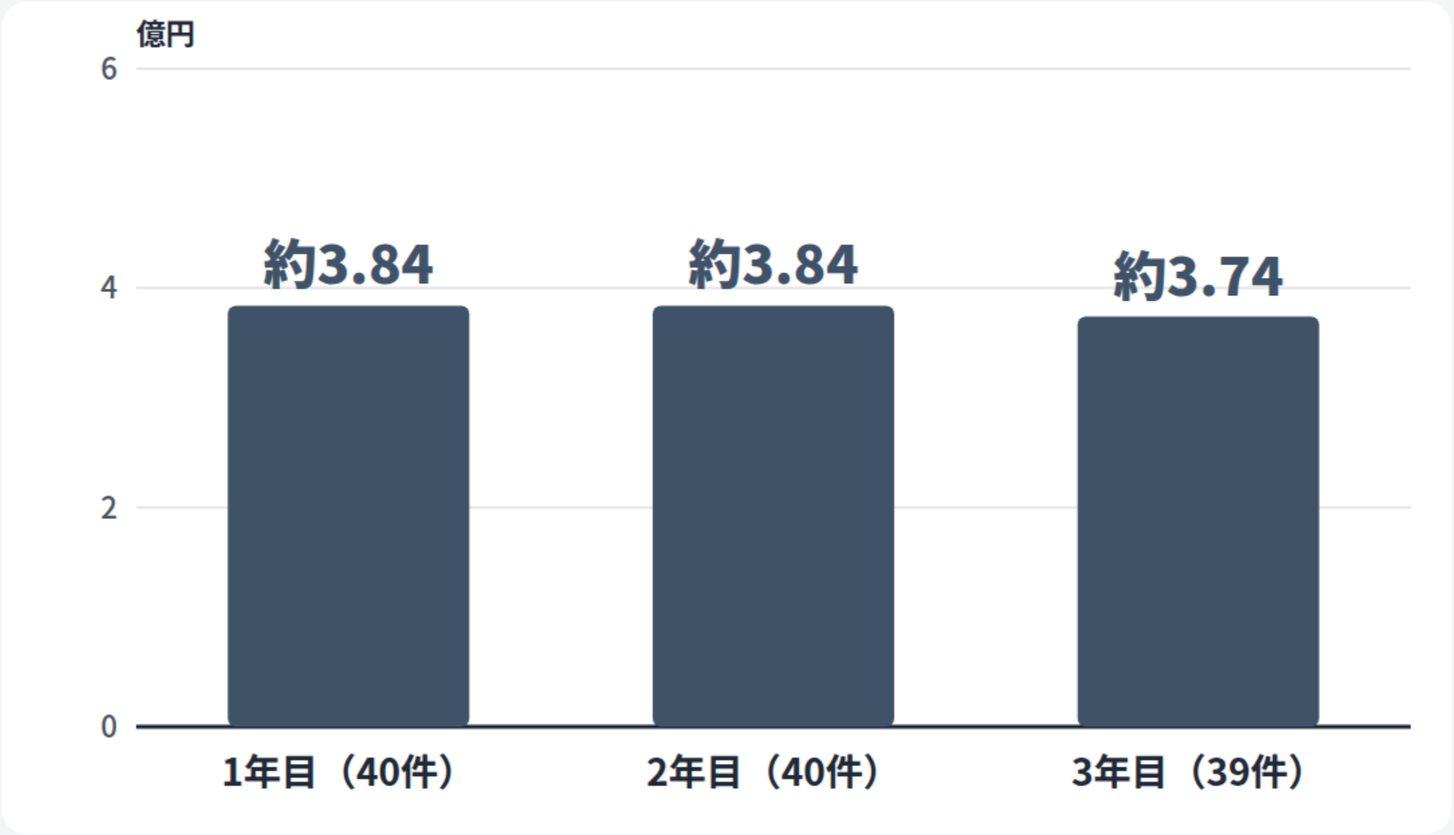
前渡金は特損処理済みで売却原価に再計上しない仮定。土地損益・販売費・追加費用・費用側の税区分・引継簿価は未確認で、現金手取りとは異なります。
先行特損を含む全期間の比較差額は約208.4万円／件。出典：添付資料の売却14.5万円/kWケース（条件付き試算）

02 売却 完成後の販売

結果

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

119件を売却：PL寄与試算 約11.42億円。



3年のPL寄与試算

約11.42億円

9,598,317円 × 119件

2027〜2029年9月期に40／40／39件を売却する説明上の仮定（蓄電所の30／42／47件とは配分が異なります）。低圧119件が対象。
確定利益・現金手取りではなく、会計処理・税区分等の確認が必要です。先行特損は約8.94億円。出典：添付資料の売却14.5万円/kWケース（条件付き試算）

03 低圧蓄電所 転換・転売

前提

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

蓄電所へ転換・転売：利益 約1,000万円／物件（見込み）。

太陽光案件
一部物件が対象

→

蓄電所へ転換
工事を完成

→

転売
想定価格で売却

連携を進めるパートナー
株式会社ネクスタ

将来利益（見込み）

約1,000万円／物件

諸費用を考慮した概算見通し（内訳は精査中）。
年次の純利益を確約するものではありません。

必要な費用（1物件）

残代金	約259万円
不足工事費	約500万円(仮)
手数料等	精査中

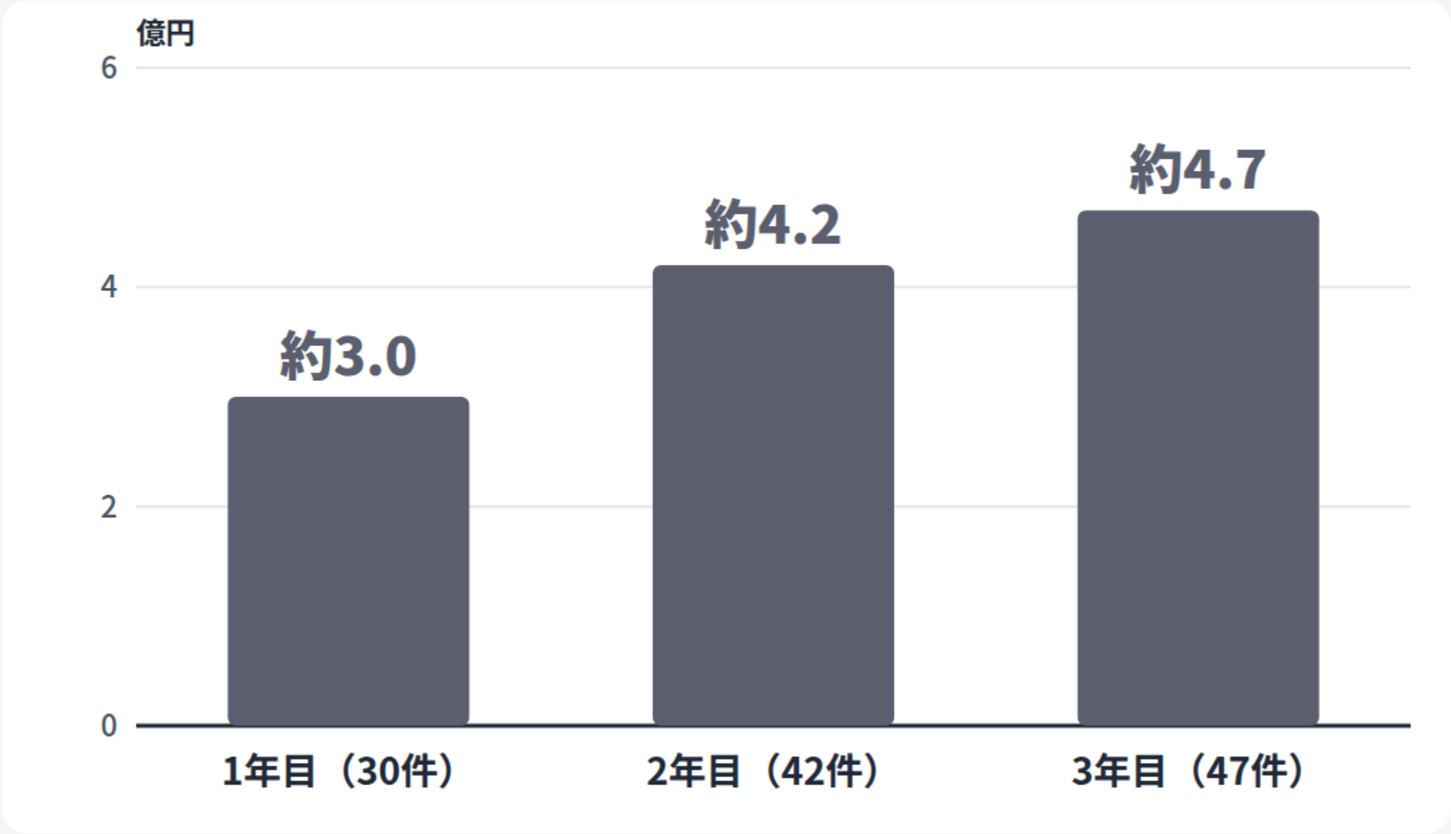
前渡金は費用計上済みのため再計上なし。転売価格は提示条件による想定（1,800〜2,000万円）。運用時の売電収入は試算外。

03 低圧蓄電所　転換・転売

結果

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

119件を3年で転換・転売：利益 約11.9億円（見込み）。



3年の利益（見込み）

約11.9億円

1件 約1,000万円 × 119件

1件 約1,000万円が全件で実現すると仮定。全件の転換可否・転売価格・手数料等は未確定。
30／42／47件は参考配分（売却の40／40／39件とは異なる）で、確定した実行計画ではありません。

※金額は概算です。市場の状況・契約条件等により増減する可能性があります。

前渡金は二重計上しません。

残代金・運営費等の必要費用を除いた額が、将来の利益に寄与。

01 売電 継続収入

119物件・各20年（全体23年）

年間売電収入（稼働初年度の合計）

約1.92億円

20年累計売上

約36.54億円

02 売却 完成後の販売

119件・3年

約11.42億円

PL寄与試算

03 低圧蓄電所 転換・転売

119件・3年

約11.9億円

利益（見込み）

決算説明での今期通期予想には、この特損貢献は反映、計上されていません、今後のその都度適切に売上及び利益計上していきます。